

時事新報

日本銀行條例 (前號ノ續)

日本銀行條例ノ(第十二條)ニハ此銀行ハ第十一條ニ記載スル事業ノ外左ニ掲グルル件々ハ勿論其他諸般ノ營業ニ關

涉スルコトヲ得ヌ(第一)不動産及ビ銀行又ハ該會社ノ株券ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲ス事(第二)本銀行ノ株券コト對シテ

貸金ヲ爲シ又ハ此株券ノ買戻ヲ爲ス事(第三)諸工業會社ノ株主タルハ勿論直接間接ヲ問ハズ工業ニ關係スル事

(第四)本皮店出張所ヲ開設スル爲メ必要ナル者ノ外一切他ノ不動産ノ所有主タル事トアリ第一第二第四項ニ據ル

如ク不動産、諸銀行會社ノ株券並ニ日本銀行ノ株券ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲サバハ銀行法ノ禁制ニ適

合スルモノニシテ無論何處ニモ所ナシト雖モ第三項ニ至テ特別ニ工業會社ノ株主タルコトヲ禁スト明言セラルハ何

故ナルヤ他ノ各項中ニモ掲グル如ク諸會社ノ株券ヲ抵當トシテ貸金スルヤハ銀行ノ正務ニ非スト之ヲ禁スル程ノ

コトニシテ其株券ノ所有主タルコトヲ禁スルハ固ヨリ適當ノ事ナリト雖モ單ニ工業會社ノミナリト雖モ我輩其理由

ヲ解セザルナリ抄紙場、製糖所、絹毛織物所、摺附木製造所、製糸會社、鑛山會社、造船所等ノ如キ諸工業會社ハ其

盛衰損益甚モ短期ス可ラズ銀行タル者ハ成ル可ク投機傍伴ノ心ヲ遠サケ確實一片ノ營業タルヲ以テ決シテ斯ル危

險ノ事業ニ關係ス可ラズトノ慮意ナラシカ天下危險ノ營業何ア必スシモ工業會社ニ關ラシテ海陸航船廻漕會社、直

輸出貿易會社、海陸保險會社、勸業貸付會社、物産會社等ハ工業會社ニ非ズト雖モ銀行ノ眼ヨリ之ヲ見レハ其危險

之ノ多ク其事業ノ盛衰ハ銀行ノ盛衰ニシテ其關係ハ甚

クナリト雖モ勿論ナリト雖モ他日果シテ國庫金ノ取扱ヒチ爲ス

ノ時節アラソコハ日本銀行ノ營業ニ一大件ヲ増スノコト

ラズ政府ノ理財法モ一面目ヲ改メ隨テ全國ノ金融上ニ大

變化ヲ來タスコトナラン(第十四條)ニハ日本銀行ハ兌換

行券ヲ發行スルノ權ヲ有ス但シ此銀行券ヲ發行セシムル

時ハ別段ノ規則ヲ制定シ更ニ頒布スル者トストアリ是ハ

此銀行コト兌換銀行券ヲ發行スルノ權アリト雖モ政府ハ

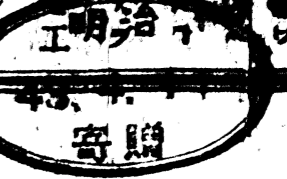
當時之ヲ許スニ非ス退テ之ヲ發行セシムル時ハ更ニ規則

ノ頒布アルコト知ルナリ然ルニ此銀行券ナル者ハ現今ノ

例ノ如ク政府ノ下落紙幣ト兌換スルニ止マル者ナレハ我

日本人民ハ當時迄モ其發行ヲ要セズト雖モ若シ橫濱正金

銀行ノ銀行券ノ如ク正貨トノ兌換券ナラシメハ一日モ其



大瀧野松方正義 府 縣 大瀧野松方正義 府 縣

出入出生死亡ノ員數并 月限リ在監地區戶長 內地ノ人口ノ算入スル

寄贈